

長野市民病院 薬剤部紹介

私たちは、患者・市民の皆さまと手を携え、地域医療に貢献する「くすりのプロフェッショナル」です

病院について

地域医療を支える急性期病院

- ✓ 診療科目:38科
- ✓ 病床数:一般病床400床
- ✓ 施設基準等
 - 臨床研修評価機構 認定病院
 - 地域がん診療連携拠点病院
 - がんゲノム医療連携病院
 - 地域災害拠点病院
 - 長野県DMAT指定病院
 - 病院機能評価機構 認定病院
 - 人間ドック健診施設機能評価認定など



- ✓ 1995年6月 開院
- ✓ 2016年4月 地方独立行政法人化

病院の基本理念

私ども職員は、患者・市民の皆さまと手を携え、
地域に開かれた病院としての医療を実践します

長野市民病院のミッション

医療を通して市民・地域社会に貢献します

薬剤部について

薬剤部の理念

長野市民病院の理念に基づき、薬剤師ひとりひとりが“くすりのプロである”という自覚を持ち、医師、看護師および院内の各部署と連携をとりながらチーム医療の一員として医療に貢献する。



基本方針

1. 薬剤投与の基本“5R+F”の実践



Right Drug
正しい薬



Right Time
正しい時間



Right Patient
正しい患者



Right Amount
正しい投与量



Right Route
正しい経路



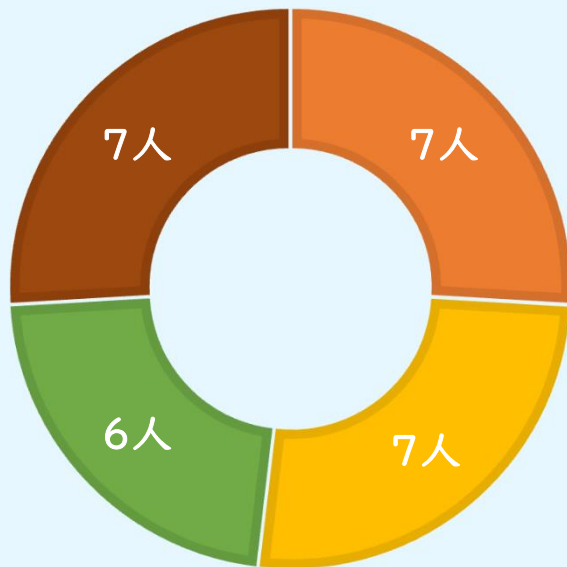
Follow Up
モニタリング

2. 新しい知識、技能の習得に貪欲に取り組む

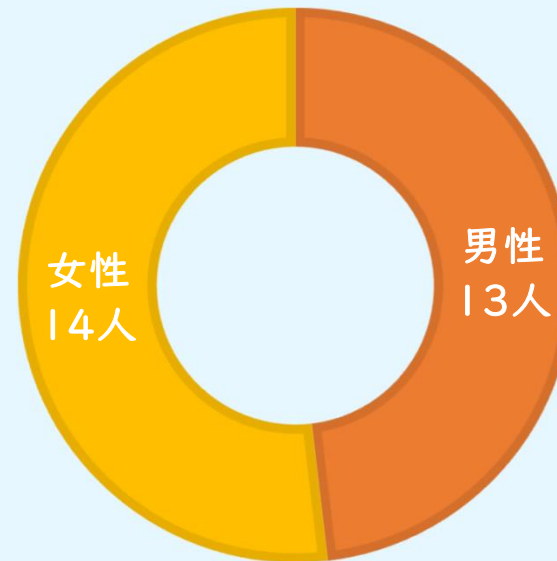
3. 薬剤師の職能を生かし、チーム医療に基づいた適切な薬物療法に貢献する

薬剤部のメンバー構成

薬剤師数 27名（パート含む）、薬剤補助者・事務員 4名（2026/6/1時点）



■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代



出身地、出身大学

出身地

長野県
北海道
栃木県
埼玉県
新潟県
愛知県
静岡県
広島県



出身大学

東北大学
富山大学
金沢大学
東北医科薬科大学
新潟薬科大学
北陸大学
国際医療福祉大学
慶応大学
東京理科大学
東京薬科大学

明治薬科大学
北里大学
昭和薬科大学
日本大学
帝京大学
日本薬科大学
金城学院大学
岐阜医療科学大学
広島国際大学

薬剤部の実績データ(2024, 2025年度)

区 分		2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)
外来処方箋枚数		93,087	93,930
	1日平均	383	387
	院外処方	(82,224)	(82,860)
	院内処方	(10,863)	(11,070)
	院 外 の 比 率	88.3 %	88.2 %
入院処方箋枚数		50,795	50,554
	1日平均	139	139
	注射処方箋枚数	93,282	90,768
	1日平均	384	375
	注射調製算定数	15,606	15,907
服薬指導算定回数		8,469	10,369

薬剤部の主要業務



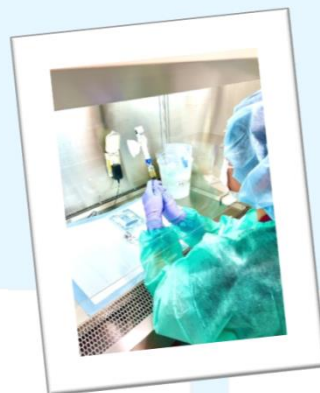
調剤業務

入院・外来調剤を迅速かつ正確に行います。



注射業務

患者様個別の注射処方監査を行った上で、注射薬の個別セット払出、および無菌調製業務を行います。



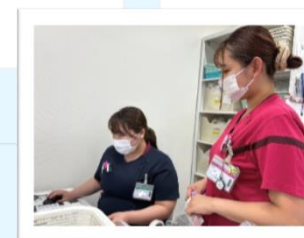
病棟業務

各病棟に専任薬剤師を常駐配置。持参薬確認やベッドサイド服薬指導、処方提案などチーム医療の中心として介入します。



DI業務

医薬品の有効性・安全性に関する国内外の情報を収集・解析。院内の全スタッフへ情報提供します。



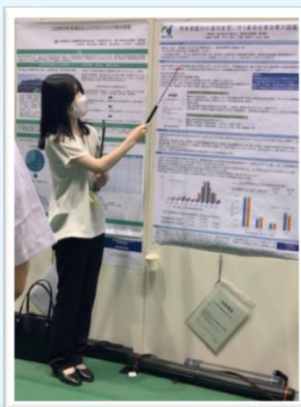
認定・専門薬剤師の取得状況と施設認定

研修施設認定	取得資格一覧	
がん専門薬剤師研修施設 薬物療法専門薬剤師研修施設 医療薬学専門薬剤師研修施設 がん薬物療法認定薬剤師研修施設 がん診療病院連携研修病院 栄養サポートチーム(NST)認定教育施設 薬学生実務実習受入施設	がん指導薬剤師 がん専門薬剤師 医療薬学専門薬剤師 感染制御専門薬剤師 感染制御認定薬剤師 抗菌化学療法認定薬剤師 緩和薬物療法認定薬剤師 日本糖尿病療養指導士 腎臓病療法指導士 脳卒中療法相談士 老年薬学認定薬剤師 集中治療専門薬剤師	日本DMAT隊員 日本DICT隊員 救急認定薬剤師 栄養サポートチーム(NST)専門療法士 周術期管理チーム認定(薬剤師) 骨粗鬆症マネージャー(薬剤師) 認定実務実習指導薬剤師 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師 病院薬学認定薬剤師 スポーツファーマシスト 長野県肝炎医療コーディネーター JPALS認定薬剤師 医療安全管理者

(認定団体名は省略)

スキルアップと自己研鑽を手厚くサポート

- ✓ 薬剤部内では定期的に勉強会を開催しています
- ✓ 学会や研修会へ積極的に参加しています
- ✓ 参加費用を全額または一部補助しています
- ✓ 卒後3年以内には、学会発表できるように先輩薬剤師がサポートしています



学会発表実績

2025年度

日本医療マネジメント学会長野県支部学術集会 1題
日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 2題
日本医療薬学会年会 1題
日本臨床腫瘍薬学会学術大会 1題
日本災害医学会学術集会 1題

2024年度

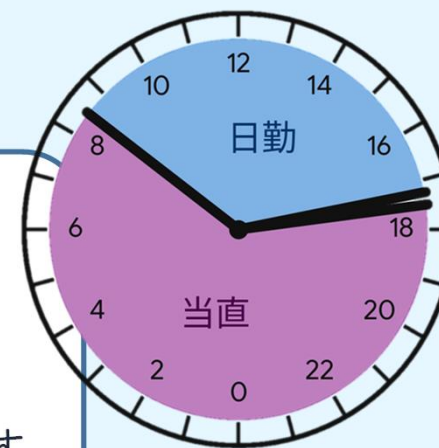
日本環境感染学会学術大会 1題
日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 2題
日本医療薬学会年会 1題
日本災害医学会学術集会 1題

日勤・当直の勤務体制

平日の基本シフト

- ・ 日勤 (8:30~17:15)
- ・ 当直補助 (17:15~20:00)
- ・ 当直 (17:30~翌8:30)

※当直と当直補助は 月1~2回程度 のため、無理なく体調を維持できます



休日・連休時の体制

- ・ 休日: 日直 (8:30~17:15) / 当直 (17:15~翌8:30)
- ・ 日直は 月0~1回程度 と少なめです
- ・ 連休時: 日直補助、当直補助、注射払出業務、外来化学療法薬調製

※交代制でしっかり休みを確保できる仕組みです

新人教育プログラム：1年間の計画的ステップアップ

プリセプター制度を導入（先輩薬剤師がフォローします）
新人教育プログラムに沿った教育体制

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調剤（処方監査、最終監査、窓口対応、 疑義照会、持参薬鑑別など）											
	注射（処方箋監査、無菌調製、 抗がん剤調製など）										
	医療安全・医薬品管理・DI										
病棟研修①*1				病棟研修②*1		病棟業務（担当者として）					
チーム医療研修*2											
オリ*3	薬剤部会議、各種研修会										
						当直補助・当直・日直					

*1：薬学的介入の見学・実践。外科系・内科系を経験する、*2：各チーム医療のラウンド、カンファレンスへの参加
*3：院内新人研修（オリエンテーション）

病棟担当薬剤師の1日タイムライン(一例)

2名で1病棟を担当します。

週単位のローテーションにより、病棟業務以外の業務スキルを習得することができます

病棟メイン週	調剤・注射メイン週
08:30 ~ 朝礼、 病棟業務	08:30 ~ 朝礼、 調剤業務
11:30 ~ 調剤業務	10:30 ~ 麻薬管理業務
12:30 ~ お昼休憩	11:30 ~ お昼休憩
13:30 ~ 病棟業務	13:30 ~ 注射業務
17:15 ~ 業務終了	17:15 ~ 業務終了

病棟担当薬剤師のとある1日のタイムライン

8:30

朝礼、病棟業務

朝礼で連絡事項を確認。病棟へ向かい、本日退院患者さんへ退院指導。夜間入院した患者さんの持参薬確認、ベッドサイドでの初回服薬指導、および主治医への処方提案。

11:30

調剤業務

外来および入院処方せんの調剤

12:30

昼食・休憩

適度な情報交換を挟みながら、リフレッシュ

13:30

病棟業務

再び病棟へ向かい、新規入院患者の初回面談。翌日退院予定患者さんの退院処方準備。薬物療法中の患者さんへ服薬指導、副作用確認、および主治医へ処方提案。

17:15

終業

本日の業務内容を病棟日誌へ記録し退勤

最新のトピックス:最先端技術の導入と実用化

医療用医薬品の IoT在庫・温度管理システム 冷蔵庫の導入

厳格な温度管理と自動在庫追跡機能を備えたスマート冷蔵庫を導入。廃棄ロスの減少や在庫管理業務の効率化を実現。

院内生成AIの積極的な活用

DI情報の初期検索、論文の要約、**薬剤管理指導記録の要約**、**事務作業の効率化**などに院内生成AIを活用。
薬剤師がベッドサイド業務に専念できる時間の創出や残業時間の減少に寄与。

多職種が連携する「チーム医療」



ICT / AST

医師、看護師、臨床検査技師らと共同ラウンド。適正な抗菌薬選定やTDMの設計に薬学的観点から深く貢献します



NST

管理栄養士と協働し入院患者の栄養評価を実施。末梢・中心静脈栄養の配合や適切な投与速度設定を提案します



認知症ケア

入院中の高齢患者におけるせん妄や認知症状に対し、処方薬の調整や副作用評価を行い、療養環境を整えます



緩和ケア

がん疼痛等に対する各種オピオイド薬の適切な用量調節や、難治性副作用の対策をきめ細かくサポートします



術後疼痛管理

手術後の患者様が早期回復できるよう、麻酔科医等と協力し硬膜外麻酔やPCAポンプ等の適正管理を行います

褥瘡ケア、DMAT、糖尿病ケア、AYA支援、心不全再入院予防 等

給与体系について

給与体系・休暇制度・福利厚生

待遇・制度項目	具体的な内容
基本給・賞与	初任給：289,000円（地域手当、処遇改善手当含む）/ 賞与：年2回支給
休日・休暇	完全週休2日制、年次休暇 20日（初年度から付与あり）
有給取得実績	年次休暇取得率 75%（2025年度）
特別休暇制度	産前・産後休暇、育児休暇（男女ともに取得実績あり）、介護休暇、療養休暇
各種手当	扶養手当、超過勤務手当、住居手当（家賃補助）、交通費補助あり
子育て支援	養育両立支援休暇、子の看護等休暇、短時間勤務、院内託児所完備
加入社会保険	健康保険、共済年金、雇用保険、地方公務員災害補償

2026/6/1時点

修学資金貸与制度/奨学金返還助成制度

薬学生修学資金貸与制度（当院独自）

当院が独自に提供している修学資金貸与制度です。卒業後、当院の薬剤師として一定期間勤務することで、貸与された資金の返還が全額免除されます。詳しくは、人事課もしくは薬剤部にお問い合わせください。

長野県による奨学金返還助成制度

「病院薬剤師確保事業奨学金返還補助金交付」を申請することができます。長野県内（当院）での一定期間の勤務継続により、実質的に返還が全額免除される優遇措置等が適用されます。詳しくは、長野県ホームページをご確認ください。

私たちと一緒に働きませんか



長野市民病院薬剤部では、医療に真摯に向き合い、
笑顔で高め合いながら成長していける新しい仲間をお待ちしております。
見学希望の方は人事課までお問い合わせください。